



タスカルエイト

## 津波災害による被害の低減 BCP対策

震災発生から津波到達までの時間が短時間とされるハザードマップエリアにおいて防災、減災対策は急務と言える。安全な高台への避難ルート確保が困難な場合、避難タワーの設置が安全とされているが、建設コストとスペースの問題から即決が困難なエリアが無数にある。

津波被害から生存率を劇的に高める方法として救命艇シェルターの設置をご提案します。

# TSUNAMI LIFEBOAT SHELTER

## 津波救命艇シェルター

1989年、船舶とマリンエンジンの整備で産声をあげたミズノマリンが大型船に搭載の救命ボート事業に参入したのが2006年。船と救命艇を知り尽くした専門家が津波救命艇シェルターの開発に着手したのは東日本大震災の翌年の事でした。

高波で横転しても船体が自然復帰するセルフライディング構造や、船体に大きなダメージを受け、万が一完全に浸水しても沈まない不沈構造は全てSOLAS(海上人命安全条約)のルールで定められた安全性で、当社の津波救命艇シェルターはそれらの条件を忠実に再現しています。

## 救命艇のエキスパートが造った 耐用年数30年以上の津波シェルター

### ■TSUNAMI LIFEBOAT SHELTER +CAL8(タスカル8)の特徴

全長2.3m(+Fは2.5m)のコンパクトサイズながら大人8名が余裕をもって避難できるキャビンスペースを実現。

またヘッドクリアランスは1.75mを確保し大人が立ったまま船内を移動出来ます。

景観を乱さないスタイリッシュなデザインでありながら、実際の救命艇に使用しているプロ仕様のドアやウインドウを採用しています。

近未来に必ず発生するとされる南海トラフ巨大地震では30mを超える津波の発生が想定されている。ハザードマップエリアに位置する施設、事業所は危機対応が急務である。震災発生から津波到達までの限られた時間内に「いかにして大切な人命を守るか」が救命艇シェルターの開発コンセプトです。

守れる命がある。



+CAL8+F





津波救命艇シェルター **+CAL8** [タスカルエイト]



津波救命艇シェルター **+CAL8+F** [タスカルエイト プラスエフ]

●船体のグラフィックデザイン及び塗装はオプションとなります。



**+CAL8**

# TSUNAMI LIFEBOAT SHELTER



## ■艇体スペック

	全長	全巾	全高	船体重量	定員
<b>+CAL8</b>	2.31m	1.85m	2.01m	500Kg	8名
<b>+CAL8+F</b>	2.55m	2.14m	2.01m	600Kg	8名

艇体スペックは変更になる場合があります。

## ■艇体主要装備品

エントリドア 1箇所	クリート後 2箇所
昇降階段 1箇所	フロントウインドウ 1箇所 & サイドウインドウ 4箇所
艇内水抜きドレンコック 1箇所	シートベルト定員分
係船用アイプレート 2箇所	

装備品の名称、仕様、設定は変更になる場合があります。

## ■+CAL8と+CAL8+Fの違い

標準仕様の+CAL8の全周にスタイリッシュな衝撃吸収フェンダーを装備したモデルが+CAL8+Fです。  
津波で漂流中、衝突時の乗員ダメージ軽減と船体強度及び浮力アップを目的に開発された最強モデルです。



**+CAL8+F**



設計・製造

株式会社 **ミズノマリン**

〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目12-15  
TEL.06-6863-5233 FAX.06-6863-5029  
e-mail info@mizuno-marine.co.jp <http://www.mizuno-marine.co.jp>

